

熱中症事故の防止に向けて

呉市立明立小学校

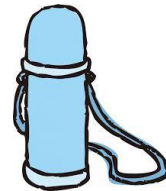
本校では、夏季における児童（生徒）の健康確保に向けて、次のとおり暑さ指数（WBGT）を活用して、熱中症事故の防止に取り組みます。

- (1) 暑さ指数（WBGT）が31℃以上の時間帯は、体育の授業、部活動、昼休憩等の運動を屋外・屋内を問わず中止にします。
- (2) 暑さ指数（WBGT）については、環境省「熱中症予防情報サイト」にある「呉」の指数を基に判断します。【環境省熱中症予防情報サイト】<https://www.wbgt.env.go.jp/>

なお、広域的な大会等について、主催者の判断において開催される場合があります。開催される場合は、個々の児童（生徒）の状況に応じた参加の可否、こまめな水分・塩分補給や休憩の取得、観戦者の軽装や着帽等、児童（生徒）の健康管理を徹底します。



具体的な熱中症対策



持ち物

- ・水筒：お茶や水を入れて持たせてください。
※午前中に「お茶がもうなくなった。」という児童もいます。十分に水分確保ができるよう多めに持たせてください。（※冷水機の使用が可能となりました。）
- ・帽子

登下校時

- ・登下校時は、帽子をかぶります。日傘・雨傘等を活用してもよいです。
- ・登下校時は、マスクを外します。



授業時

- ・エアコンを使用します。窓や教室扉はエアコンの効き具合によって開き方を調節します。（密閉はしません。）
- ・体育では、マスクを外します。
- ・運動場にテントを常設し、外での説明などは、テント下で行います。
- ・暑さ指数（WBGT）31度以上では、体育・外での活動・外遊びは実施しません。
- ・暑さ指数（WBGT）28度以上（厳重警戒）では、激しい運動はしません。
10～20分おきに休憩・水分補給の時間を取ります。
- ・暑さ指数（WBGT）25度以上（警戒）では、激しい運動は避けます。30分おきに休憩・水分補給の時間を取ります。



休憩時

- ・外遊びをするときには、帽子をかぶります。マスクを外します。
- ・水分補給は、各自で随時行います。
- ・休憩後は、必ず水分補給をします。
※教師の声かけのもと、確実に実施します。

下校時

- ・帰る前にも水分補給をさせてから帰します。

